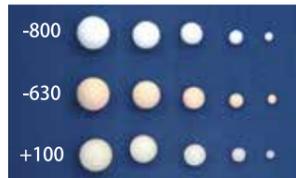


■ 商品構成

1. 本体 成人男子トルソ	外観	挙上位 (CTにも対応)
	胸壁 (肺の形状)	成人男性計測値 胸囲約 94cm
	骨格	人工骨
2. 肺野内部構造 (本体に着脱可)	縦隔部	第1気管分岐を再現
	肺血管	肺動静脈を再現
	上腹部ブロック (横隔膜)	上面横隔膜形状を再現
3. 模擬腫瘍	3種 (CT値 -800・-630・+100相当) 各大きさ5種 (Φ3・5・8・10・12) mm	

■ 仕様 重量：約 18Kg サイズ：43×48cm 胸囲 94cm
 材質：軟組織部：ポリウレタン樹脂 (比重 1.06) & 骨格：エポキシ樹脂 (比重 1.31)

■ 別売部品

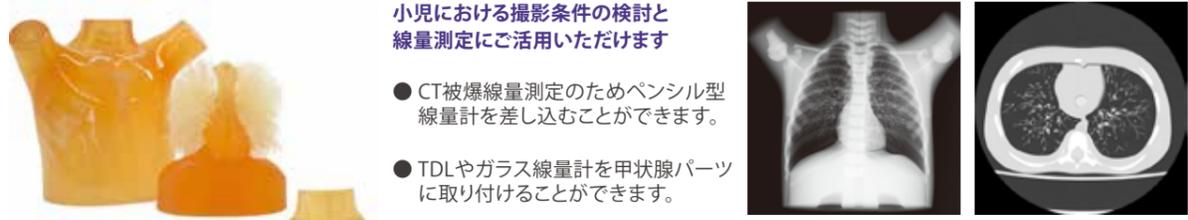
<p>チェストプレート 41337-010</p> 	<p>模擬腫瘍 41337-070 (CT値3種、大きさ5種 計15点)</p>  <p>模擬腫瘍 (Φ3・5・8・10・12)mm</p>	<p>収納用ケース 41363-020 ※チェストプレートは収納できません。</p>			
<p>核医学用品</p> 	<p>41337-050 RI用腫瘍容器 41337-060 RI用心室容器付心臓 41337-020 肺ウレタン発泡体 41337-030 RI用肝容器 41337-040 RI用胆容器</p> <p>●以下は特注仕様になります。お問い合わせ下さい。</p> <table border="1"> <tr> <td>放射線治療</td> <td>ガラス線量計挿入孔付模擬腫瘍等が別途製作可能</td> <td>治療計画・線量測定</td> </tr> </table>	放射線治療	ガラス線量計挿入孔付模擬腫瘍等が別途製作可能	治療計画・線量測定	
放射線治療	ガラス線量計挿入孔付模擬腫瘍等が別途製作可能	治療計画・線量測定			

■ 関連製品

小児胸部ファントム 5Y型 41337-400

小児における撮影条件の検討と線量測定にご活用いただけます

- CT被爆線量測定のためペンシル型線量計を差し込むことができます。
- TDLやガラス線量計を甲状腺パーツに取り付けることができます。



● 製品は絶えず改良を続けておりますので、仕様・外観など予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。
 ● このパンフレットに掲載の文章・情報・写真等については、許可なく無断転載・転用・コピーなどは固くお断りいたします。

2024.06

取扱店

製造元

KYOTO KAGAKU URL <https://www.kyotokagaku.com/jp/>
 e-mail rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

京都本社・工場
 〒612-8388 京都市伏見区北畠小屋町15番地
 TEL.075-605-2510 (直通) FAX.075-605-2519

東京支店
 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
 NREG本郷三丁目ビル2階
 TEL.03-3817-8071 (直通) FAX.03-3817-8075

胸部ファントム N-1
 ラングマン

指導・監修：村田 喜代史
 滋賀医科大学 放射線医学講座 教授
 新田 哲久
 滋賀医科大学 医学部医学科 講師

PH-1 41337-100 胸部ファントム N-1 チェストプレート付 ※ケース別売
 41337-000 胸部ファントム N-1 ※ケース別売
 41337-010 チェストプレート
 41363-020 収納用アルミケース

※チェストプレートは収納できません。

肺野部を解剖学的に正確に再現
 臨床画像に近似した単純X線撮影が可能



41337-100 チェストプレート付

Phantom for Medical Imaging



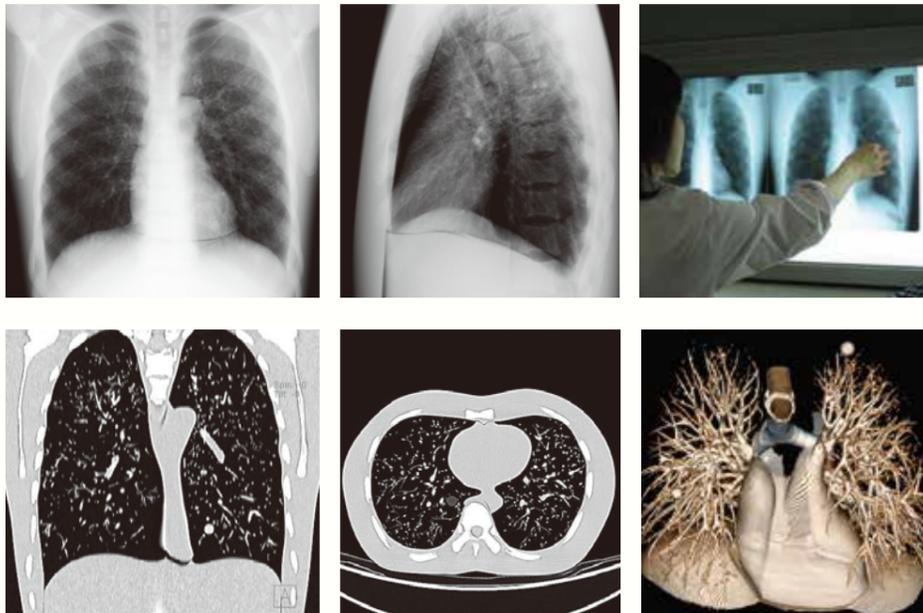
縦隔、肺野構造などを解剖学的に正確に再現、また肺野内肺血管の立体的配置により、臨床画像に近似した単純X線画像の撮影が可能

特長

- 肺野部は着脱式のため任意の位置に模擬結節を取り付け、単純X線撮影とCT撮影の画像比較が行えます。また肺野部を直接確認できるため、透視画像と比較して三次元的に理解を深めることができ、X線画像の読影技術向上のための実習ができます。
- 単純X線撮影の条件によって、肺野部の肺血管や骨格部分で人体と同様の濃度変化が得られます。
- X線撮影と同様にCT撮影画像でも、血管を立体的に追うことができます。
- CT値と大きさの異なる模擬腫瘍の設定により、CT画像の画質評価（結節性病変、びまん性肺疾患）ができます。
- CT撮影に有効な挙上位の体位を設定。

実習項目

胸部単純X線撮影及びCT撮影、読影



「胸部ファントム N1」の薦め

指導・監修： 村田 喜代史 滋賀医科大学 放射線医学講座 教授
新田 哲久 滋賀医科大学 医学部医学科 講師

胸部単純X線写真は、胸部CTとともに肺癌診療に欠かすことが出来ないモダリティです。現在CTの進歩は目覚しく、小さな結節や淡い陰影の結節が多数発見されています。胸部単純X線写真は一見無力であるかのように感じられます。しかし、注意深く読影すると多くの病変が胸部単純X線写真で見えていることが分かります。一方、淡い陰影を呈する病変でないにもかかわらず、見えにくい病変があることも事実です。これらの病変は、病変の部位と正常構造の重なりが大きく影響しています。

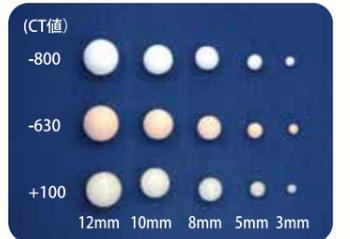
この胸部ファントムの構造上の特徴は、今までの胸部ファントムと異なり、縦隔、肺野構造を解剖学的にできるだけ忠実に再現しており、かつ縦隔、肺野構造が取り外し可能で模擬病変を任意の部位に設置できることです。従来の胸部ファントムは、機器の性能評価や撮影条件の設定、撮影技術の向上を主な目的としていましたが、これらの機能のほかに放射線科医の胸部単純X線写真の読影能力向上にも貢献するものと考えております。

訓練計画

取り外した肺野部の任意の位置に模擬腫瘍を取り付け、撮影の準備を行います。



CT値と大きさの異なる3種の模擬腫瘍

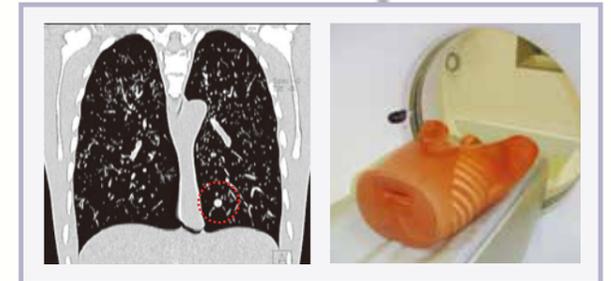


胸部単純X線撮影



模擬腫瘍を取り付けたX線画像

CT撮影



CT値+100の模擬腫瘍



胸部単純X線撮影画像とCT画像の腫瘍付肺野部の比較

胸部単純X線撮影画像再読影



胸部単純X線撮影画像の読影技術の向上



〈画像協力：滋賀医科大学・武田総合病院〉